



## 遅まきのひまわり

気づかぬ間に梅雨は明けましたよ、本格的な夏空の下、水遊び中心の毎日が始まっています。

今年の6、7月：園長として、例年にはないくらいいのせわしなさの中で、頭をパンパンにしながら過ごしていたからでしょうか、ある夜、布団の中で、「あっ！」と声をあげました。それは、とある園長から、「種を増やして収穫してね。」と、ひまわりの種をもらっていたことを思い出したから。(これは、「福島とみんなをつなぐ、ひまわりプロジェクト」という活動。 <http://himawariproject.com/whats.html>)

怠け者の園長は、それを誰かに撒いてもらおうと、何の説明もせず、S木主任のデスクにとりあえず置きっ放しにしていたのです…それも2週間くらい前に。そのひまわりの種は、不思議な事に、真っ青に染色されているため、「なにこれ、気持ち悪い！」と捨てられてやしないかと、なおさら心配になったのでした。

「ああ、これですね。」

翌朝一番に声を掛けると、ちゃあんと保管をしてくれていた、マジメな彼女。「何だろうと思っていたんですよ。」と言いながら、ひと仕事を請け負ってくれました。

とりあえず、安堵した無責任な園長は、また忙しくも虚しい雑務へと、舞い戻っていったのでした。

そして、他園から施設見学者を迎えたある日。階段の掲示板を眺めながら一向を案内をしている時：一つの活動写真に、ふと目が止まりました。なっなんと、それは、あの青いひまわりの種！しかも、あの昔から親しまれている絵本「そらいろのたね」を絡めながら、子どもたち共に「ひまわりプロジェクト」を進める様子が語られている…まさかこんな展開になっていたとは：その後の種の行く末のことなど、またしてもすっかり忘れていた不



届きな園長は、多少の後ろめたさを感じながら、少し動揺しておりました。

興味深げに掲示物に見入る見学者に、それを悟られないよう「青いひまわりの種をもらいましたねえ」と平静を装いながら、先へと歩みを進めました。

たまたま、私に託されたひまわりの種。忙しさにかまけて、すっかり人任せにしていた事もどうかと思うのですが、そのおかげで？、人知れず、園内の片隅に撒かれるだけの運命だったひまわりが、私の想像を超えた道を歩んでいたものでありました。

保育活動とは、きつとこうした偶然が重なり合って生まれているものだと、改めて思います。様々な人や物が行き交い、色々な出来事が交錯する園内で、何が拾われて、何が見逃されているのか…神のみぞ知ることなのかも知れませんが、たまたま拾われた偶然を、子どもたちの新たな経験へと結びつけていく保育者たち。そこに、何らかの意味と期待を込め、子どもたちの前に再提示された時、ただの偶然と思われた出来事が、経験すべき「必然」へと生まれ変わる瞬間が訪れる

ような気がします。

子ども、そして人が育つために、絶対に必要な経験とは何であるのか…森羅万象に満ち溢れるこの世界から、それを選び出し、優先順位を付けることは難しいことです。それよりも、たまたま出食わした出来事を、価値ある経験へと位置づけてくれる人、そういう人と巡り会うことが、ずっと重要なことだと思っております。

ただ、その巡り会いもまた、偶然の産物。と



カレンダー	
7月	4 (火) 発育測定 (O12)
	5 (水) 発育測定 (K)
	6 (木) 乳児健診
	8 (土) 誠美まつり
	11 (火) 防災訓練
	13 (木) 誕生会

なれば、自分は、子どもたちにとつて、巡り会う価値のある大人になり得ているのか…：自問自答は続いていきます。

ただ、今言えることは、種との出会い一つに、これだけ心乱されているようでは…まだまだ…ということでしょうか。

園長 折井誠司

## そうめん流しへのお誘い

8月6日(日) 11時から園庭にて、そうめん流しを開催します(雨天中止)。地域のみなさんにも参加頂けるイベントですので、お知り合いの方などもお誘い下さい。

詳細は、掲示板ポスター等をご覧の上、参加される方は、掲示板下の参加表にご記入下さい。

- 編集 誠美保育園
- 編集人 折井 誠司
- 発行人 折井 誠司
- 印刷所 誠美保育園
- 発行所 社会福祉法人 誠美福祉会

〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-1-2

電話 042-675-1551

ファックス 042-677-5643

E-mail seib@hokkenu.jp

http://hokkenu.jp/